

監修 広報・患者サービス向上委員会  
発行 県立安芸津病院  
広島県東広島市安芸津町三津 4388  
Tel 0846-45-0055



### 病院理念

私たちは  
地域の皆様に愛され、信頼される中核病院をめざします。

### 職員紹介

(氏名) 高島 郁博  
(役職) 外科部長  
(専門領域) 消化器外科  
(資格)



日本消化器外科学会専門医  
日本外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会がん外科治療認定医  
がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定指導医

当院は大病院とは異なり、患者様と職員との顔の見える関係が築ける点がメリットです。体調不良時にすぐ対応できるように日頃から当院を利用していただければ安心です。大病院志向は否めませんが、手術後に遠方まで通われている方がいらっしゃいましたらご相談下さい。当院でも必要十分なフォローが可能です。



(氏名) 西本 直樹  
(役職) 外科副部長  
(専門領域) 消化器外科  
(資格)



日本外科学会認定医  
日本消化器外科学会認定医

外科の西本と申します。高島外科部長のもと消化器を中心とした外科一般の診療をさせて頂いております。胃や大腸を中心とした消化器癌の手術療法や化学療法をはじめ、乳腺や甲状腺などの病気についても気楽にご相談下さい。

### C型慢性肝炎に対するインターフェロン療法

C型慢性肝炎は、C型肝炎ウイルスの持続感染により発症し徐々に進行する病気です。治癒するためには体内のウイルスを完全に排除する必要があります。しかし、ウイルスが自然に消失することはなく、ウイルスを排除できる唯一の治療がインターフェロン療法です。

性別、年齢、ウイルスのタイプと量によりインターフェロンの効果を予測することができます。日本人のC型慢性肝炎の7割はインターフェロンの効きにくい1bというタイプです。初期のインターフェロン療法では数%しか効きませんでした。しかし最新のインターフェロン療法を行うことにより、これらの効きにくいとされていた人でも30~60%の人でウイルスが完全に排除されるようになりました。残りの3割はインターフェロンが効きやすい2a,2bというタイプです。インターフェロン療法を行うことにより80~90%の人でウイルスを完全に排除することができます。

インターフェロン療法は高額だという印象があるかもしれませんが。現在公費助成制度があり、治療費負担も軽減しています。C型慢性肝炎の治療の基本は、ウイルスを完全に排除することです。当院でも積極的にインターフェロン療法を行っています。ぜひ御相談ください。

内科主任部長 三浦 敏夫



### 出前講座

今年4月から職員が地域の交流場所へ出向いて健康や医療に関してお話しする『出前講座』を始めました。7月までに5回開催しています。関心のある皆様は総務課にご連絡ください。



写真は7月10日に伺った「サロン立花」

リハビリ科の理学療法士から「あなたの筋肉ねむっていませんか」と題してご自宅でできる体操をみんなで一緒に行いました。笑顔もあり、職員にとっても楽しいひと時でした。ありがとうございました。



### 夏祭りの思い出



### 編集後記

夏真っ盛り、猛暑の8月20日に安芸津町B&Gにて、ふれあい夏まつりが開催されました。安芸津病院からも看護師、理学療法士、事務の方々、医師らが参加しました。この日のために日頃より練習を行い、歌、演奏、ロコモーション体操などを披露させて頂きました。

また、臨時整形外科外来も設置し膝痛などの相談に対応することができ、思い出深い一夜となりました。私もギター演奏で参加しましたが、すっかり味をしめてしまい、火とグルメ祭りでも演奏させて頂く予定です。引き続きロコモーション体操指導も行う予定でありますので皆様ぜひ会場でお会いしましょう。

副院長 後藤 俊彦



### 院内安全ラウンド

当院の医療安全対策チームは、患者さんに安全・安楽な環境を提供することを目標に、本年度より院内安全ラウンド(巡視)を実施しています。2ヶ月に1回の巡視においてマニュアルに沿った行動がとれているのか? 必要な医療機器・介護用品は必要ところに配置されているのか? 安全面への配慮はされているのか? 等各方面から点検し、不適切な箇所を見つけて改善することで、医療安全の意識を高め、より安全な病院づくりを目指して取り組み中です。

セーフティマネージャー (看護師) 濱本由美



副院長 吉村 福代